

ギンバル原状回復

最終7ヘクタール地主に返還

【金武】2011年7月末に返還された米軍の旧ギンバル訓練場(約60ヘクタール)で、訓練場全体の原状回復が完了し、最終引き渡し分となる金武町有地など約7ヘクタールが20日付で地主へ返還された。町有地には核弾頭を搭

載可能な中距離ミサイル「メースB」の発射施設跡などが残り、沖縄防衛局が解体を進めていた。

訓練場は11年7月31日の返還日に第1次引き渡し範囲として約23ヘクタールが即日地主へ戻った。翌12年1月14日

に第2次分の約26ヘクタールが引き渡された。里道に当たる4ヘクタールの国有地は町に譲渡された。

町は返還跡地に医療やリハビリ関係施設などを建設中で、来年4月に開業する予定。金武町議会(仲里全孝議長)は24、25の両日の9月定例会で、同施設に設置する最新医療機器など総額約11億円の購入契約を盛り込んだ議案を可決した。